

インターネットの「今」を切り取る情報を、各種団体からのニュースや資料を中心に紹介します。

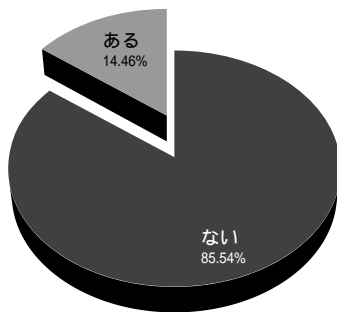
83%の人が迷惑メールを受信 電子メールに関するアンケート

IAJapan <http://www.iajapan.org/>

財団法人インターネット協会(IAJapan)は、電子メール利用者を対象に調査を実施した [URL01](#)。その結果を元に、IAJapanが作成しているインターネットを利用する際の常識的と考えられるルールやマナーを集めた「インターネットを利用する方のためのルール&マナー集」[URL02](#)に、「迷惑メール対策編」が追加された。

調査はインターネットホットライン連絡

図1 メールが原因でトラブルになったことはありますか？ [有効解答 1694]



協議会参加団体のWEB110 [URL03](#) で2002年9月に行われた。対象は電子メール利用経験者約1,700人。

回答者の83%が迷惑メールを受け取ったことがあり、メールが原因でトラブルになったことがある人は15%弱いた(図1)。トラブルの原因でもっとも多いのは「言葉の行き違い」で38%だった(図2)。トラブル後に「お詫びのメールを送ったら解決した」人が47%だが、メールのやりとりをやめたり、仕事に支障をきたしたりした人もいることが調査からわかる。迷惑だと感じるメールで多いのはウイルスメール(28%)や出会い系サイト紹介のメール(25%)に代表される見ず知らずの人からのメールだった。また、いわゆる「迷惑メール」ではないが迷惑と感じるメールとしては、「大きな添付書類がついたメール(22%)」「件名のないメール(18%)」「HTML形式のメール(18%)」が上位だった(図3)。

メールのトラブル対策は、約46%が答えた「自分で心がけるしかない」自己責任が原則なのは言うまでもないだろう。

[URL01](http://www.iajapan.org/hotline/2002mail-result.html) <http://www.iajapan.org/rule/>

[URL02](http://www.iajapan.org/rule/) <http://web110.com/>

[URL03](http://web110.com/)

JPドメイン名の登録などに関する手続きの変更を発表

JPRS <http://jprs.jp/>

JPRSは、JPドメイン名の登録などに関する手続きの一部を変更することを発表した [URL04](#)。

予定される変更の内容は以下のとおり。

- ・JPドメイン名紛争処理方針(JP-DRP)により移転裁定が出た場合の移転手続の明確化
- ・企業等合併時のドメイン名併用期間が6か月以上必要とされる場合の例外規定の設置
- ・EDドメインの、ドメイン名予約の特例措置と、他の属性型・地域型JPドメイン名からの移行に関する料金や併用期間の特例措置の終了
- ・NEドメインとGRドメインの、他の属性型・地域型JPドメイン名からの移行に関する特例措置の終了

この変更は2003年4月1日から実施される。

[URL04](http://jprs.jp/info/notice/200304-rule.html) <http://jprs.jp/info/notice/200304-rule.html>

図2 何がトラブルの原因でしたか？

[有効解答 361] * 複数回答

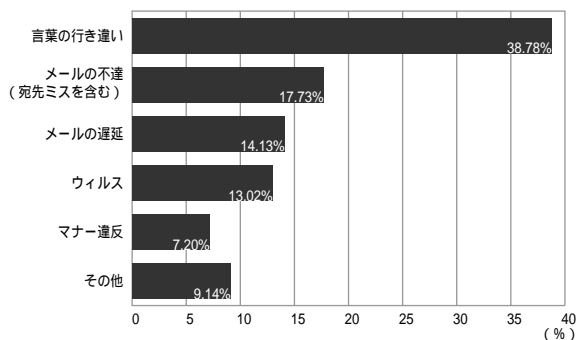
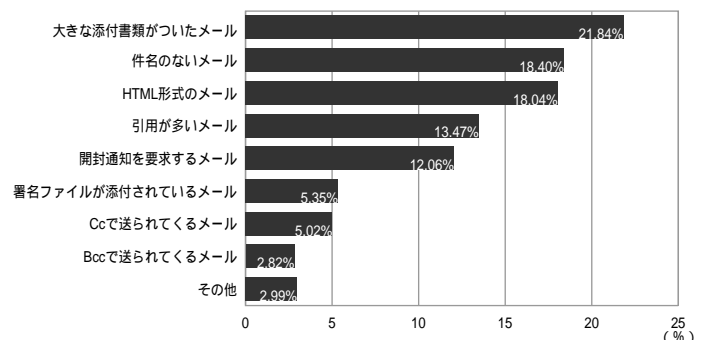


図3 普通のメールでも迷惑と思うのはどんなメールですか？

[有効解答 4245] * 複数回答





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp